

国民投票法案を廃案へ！ 今年の抱負を論議

一月七日に定

例会を開催

議が出され、以下の諸点について確認されました。

☆今年の活動目標

代表世話人からは今年の国民投票法案提出を見送るぐらいの運動を盛り上げたいという抱負が出されました。

事務局長からは今年中に賛同者千名を目指すという目標が提起されました。そのために、今年の活動の抱負と定例会の持ち方、一周年記念活動について話し合っ

てほしい。と提起され、活発に論

議が出され、以下の諸点について確認されました。

・住民過半数に自民党新憲法草案の問題点を知ってもらうために、地域での学習会を開く。

・既存の団体は、新しい人を参加させるのが一苦勞なので、定例会などで宣伝、協力。

・宣伝や署名活動を提起できるようにする。

・各団体との連携活動をする。
・ニュースの発行は重要だが、賛同者に全員配布できる体制にする。

☆定例会の役割

・定例会は、呼びかけ人や地域や団体で学習会などの中心になっている人、および協力者で構成する。定例会は①地域や団体で9条を守る活

動の連絡と協同の場とする。②宣伝や署名活動を提起する。③バッジやステッカーを作成する。④各団体との連携を行うなど9条の会を発展させるために論議する場とする。

☆一周年記念式典の内容

・日程 憲法記念日の五月はじめにという意見もあったが、他団体の活動と重なるので創立した六月上旬に行う方向でいくことになりました。

・内容について以下の案が出された。寸劇の上演。バッジやステッカー、携帯電話のストラップの図柄を公募。作文や川柳の募集。憲法について討論会。平塚市政と憲法の講演。

☆次回定例会

日程：二月四日（土）午前十時
場所：中央公民館三階大会議室

憲法自民案学習

会1・28（土）

憲法の9条を改定し、自衛軍を憲法に盛り込もうとする自民党

の新憲法草案の学習会を予定しています。

講師：岡本共栄弁護士（相模合同法律事務所）

日程：二月二十八日（土）午後一時

場所：勤労会館一階会議室

投稿誌

挨拶もなく

寺田 公明

原子炉がやってくる

アメリカの原子炉がやってくる

挨拶もなく日本のど真ん中にやってくる

誰も忘れはしないだろう

この四月が丁度二十年目にあたるのだが

あのすさまじいチェルノブイリの大核惨事

爆発した原子炉

欧州まで広がった膨大な地域の汚染昆虫は消え 動物も人も住めなくなり

体中に食い入った放射能
白血病の牙となって子どもたちを襲
い

若い娘や妊婦の体力をむしばみ始め
難産が 未熟児・死産が増えつづけ
る

老いた親たちは肺ガンと胃ガンで瘦
せ衰え

廃墟となった村や町に新しい墓標ば
かりが目立つ

ウクライナからベラルーシ

今も陰惨なまでに死の風が吹き荒れ
ている

原子炉がやってくる

挨拶もなく巨大な原子炉がやってく
る

空母ジョージ・ワシントン は四六時
中波を蹴立て

艦載機の離発着の衝撃にさらされな
がら

狭い東京湾をうろつき始める

横須賀は決して

チエルノブイリにはならないと

誰が言い切れるだろうか

横須賀で原子炉の核惨事が起る

東京、川崎、横浜は廃墟の街となり
果てる

逗子から藤沢・平塚、 木更津から
湊へ

死の風など決して吹きはしないなど
と

誰が言い切れるだろうか
無数の累々たる屍

被爆した首都圏の三千万人
どこへ避難したらいいというのか

戦争好みの人たちの
誰が責任をとるといふのか

アフガンを振りかえってみる

イラクの現状を見つめてみる
破壊つくしたままに

殺しつくしたままに
何事もなかったかのように 誰かが
ただ一言

首をすくめ こう呟いて終わるだろ
う

日本での故障でほっとした

靖国神社の実態を知る

十一月五日ツアー体験記(続)

★高橋静男さん(民商)

明治、大正時代に生まれた先輩

たちはお国のためにと云って侵略戦
争に、徴兵制度の赤紙一枚で駆り出
された。A級戦犯は、昭和の殉難者
として祭つてある神社。その近くに
建てられた遊就館。そこでは戦争に
使われた零戦や武器などが生々と祭
られてあります。又、戦争の記録映
画を上映して居ます。終戦を迎え米
空軍のマッカーサーが初めて、日本
に降り、勝利に満ちた姿。遊就館は
戦争博物館(である)。

侵略戦争をした日本はまだ謝罪が
ないと、アジアの国々に批判され続
け、悪影響をおよぼして居るのに、
靖国神社を参拝している。一国の首
相たる者のすることではない。(やる
べきことは、)国民は先祖を誇りに持
つて、悪いことは悪いと謝罪し、歴
史を曲げないで正確に伝え、平和的
社会の形成者として、真理と正義を

愛し、勤労と責
任を重んじ、精
神的に充ちた健

康な国民の育成を期して行うことで
はないでしょうか。

交流欄

平和の要をめざす会

一月二十一日(土) 午後二時

場所…金目教会

連絡先 TEL0463-58-7587

自衛隊が《自衛軍》になるとどうなる？

■講師／山田朗・明治大学教授

■一月二十五日(水) 十八時四十五～二十四時

■全水道会館4F・大会議室 東京都文

京区本郷1-4-1 電話03-3816-4196

■参加費／700円

■主催／映画人九条の会

思想・信教の自由を守る「十一月集会

二月十一日(土) 午後一時半～四時

場所…茅ヶ崎教会

講師…比企敦子さん

連絡先 TEL0463-31-3568 島 耕一

参加費…三百円(十八歳未満無料)
